

シルバーだより



公 告 社 団 法 人 材
もどみやシルバー人材
安全・適正就業推



9号

■発行日／平成25年8月1日

■発行所／公益社団法人本宮市シルバー人材センター

■住 所／本宮市本宮字太郎丸112-3

■電 話／0243-34-5226

■E-mail : silver-motomiya@cameo.plala.or.jp ■URL : <http://www.silver-motomiya.com/>

第1回安全・適正就業推進大会開催

【大会の趣旨】

シルバー人材センター事業は、高齢化が進展する中、地域社会活性化のための中核事業としてますますの発展拡充が期待されているところであります。

一方、事業規模の拡大に伴い、センター会員の就業中及び就業途上の傷害・災害事故は増加の傾向にあり、他のシルバー人材センターにおいては特に死亡事故の発生が後を絶たないところであります。

本大会は、高齢者が健康で「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが大切であります。

このため、当センターでは、福島県シルバー人材センター連合会の方針を考慮し、安全・適正就業について、より着実な成果を期するため「安全・適正就業推進大会」を開催するものです。

1. 開催日：7月15日(月) 午後1時30分
2. 開催場所：本宮市商工会館
3. 安全標語：“安全は 慣れた仕事も 油断せず”

す。
に、傷害事故
ぜ口を目指
し、会員皆様
のご協力をお
願いたしま
す。



本日は、「平成二十五年度 安全・適正就業推進大会」を開催いたしましたところ、会員の皆様には、ご多用の折多数のご参加をいただきましたこと誠にありがとうございました。

私たちは、「安全・適正就業推進大会開催要綱」の趣旨に基づき、会員の安全就業と事故ゼロを目指して今回本大会を開催いたしました。

今後も、講習会、研修会、安全パトロールを開催いたしますので、会員皆様の積極的な参加をお願いいたします。平成二十四年度は、軽微な傷害が一件と物損事故二件が発生いたしました。こ

安全就業委員会委員長 高橋正晴
適正就業委員会委員長 菅野昇次

大会の参加について

表彰

表彰は、安全・適正就業推進大会開催要領第五条表彰規程に基づき「優良表彰」と「特別表彰」の該当者を表彰いたします。

* 優良表彰（十年以上無事故で就業した会員）
国分 大（白沢第二）

* 特別表彰（二期四年安全就業に推進した役員）
地域班

渡 増 边 子 昭 功 (剪定伐採班)	渡 佐 瓶 藤 边 藤 瓶 吉 忠 和 正 一 和 明 彦 幸 二 (草刈本宮二班)	三 安 渡 鈴 大 野 間 祐 �寿 (本宮第一班)
渡 増 边 子 昭 功 (剪定伐採班)	三 安 渡 鈴 大 野 間 祐 壽 (本宮第一班)	渡 鈴 大 野 間 祐 壽 (本宮第一班)
渡 増 边 子 昭 功 (剪定伐採班)	渡 佐 瓶 藤 边 藤 瓶 吉 忠 和 正 一 和 明 彦 幸 二 (草刈本宮二班)	渡 佐 瓶 藤 边 藤 瓶 吉 忠 和 正 一 和 明 彦 幸 二 (草刈本宮二班)
渡 増 边 子 昭 功 (剪定伐採班)	三 安 渡 鈴 大 野 間 祐 壽 (本宮第一班)	三 安 渡 鈴 大 野 間 祐 壽 (本宮第一班)



安全・適正就業の誓い



ワンポイント KYT 指差呼称確認

私たちは、シルバーの基本理念の基、自主的活動を基本として就業に励んでおります。共に健康で働く喜びを分かち合い安全・適正就業に心がけ、センター事業発展のため、本宮市シルバー人材センターの会員は、本大会を契機として、一人ひとりが就業規則を守り無事故。無災害に向け、次の事項を積極的に取り組み、安全・適正就業の推進に努めることを誓います。

一、講習会等に参加し自己啓発に努めます。
二、就業規則等を守り、就業中の傷害事故防止に努めます。
三、就業場所等危険箇所を調査し事故防止に努めます。
四、交通マナーを守り、交通事故防止に努めます。
五、自己の身体能力を自覚し、安全就業に努めます。
六、毎年、健康診断を受診し、健康管理に努めます。
七、共働・共助の精神による就業機会の確保に努めます。

就業は、白沢にあります、「スマイル・キッズパーク」で清掃を担当しています。施設は、幼少のお子さんが多く使用しています、子どもさんは、大人では考えられない意外な行動をします。そのためには、どこに注意して管理するかが、大切になります。お母さんが目を離した隙にケガが起こります。事故の発生は、反省を踏まえ、同じような事故は起さないことを。

《適正就業》

- 一なぜ、今、適正就業なのか
- 二適正就業が課題とされる背景は「就業する」形態のいろいろ
- 三最近における事故の状況
- 四会員の事故四十五%は、交通事故
- 五会員の事故四十五%は、交通事故

意見発表

《日頃の安全対策を》

三 瓶 菊 子

- 一 安全就業は、シルバー事業の永遠の願い
- 二 あたりまえのことを、あたりまえに行なう習慣
- 三 高齢者における動作能力の変化の自覚

《安全就業の推進について》 渡辺 功

《記念講演》

演題 「安全・適正就業について」

講師 五十嵐 一男 先生

福島県シルバー人材センター

連合会 専務理事



シルバーに入ったのには、二つの理由があります。一つは、剪定作業がやりたい。二つは、常日頃の健康管理のためです。

剪定作業は、持てる道具は刃物、作業場は、梯子・三脚と不安定な足場と危険を伴うものばかりの作業です。

年齢的には、体が思うように動かない状態となってきたおり、反射神経も衰えてきて、ヒヤリ・ハットの事例が一段と増えています。ゼロ災害運動を実践することが大切です。作業に入る前に、ヘルメット良し、あご紐良し、胴綱良しと声掛けして仲間で確認してから就業に入る。これが安全就業の基本ではないでしょうか。

講師から、やどりある生活を求めてシルバーに加入してもケガ・事故に合っては、今後の生活に支障を来たす。安全就業は大切ですと、次の事項を詳細に説明していただきました。

《安全就業》

- 一 安全就業は、シルバー事業の永遠の願い
- 二 安全就業は、会員各人の意識が大切
- 三 高齢者における動作能力の変化の自覚
- 四 最近における事故の状況
- 五 会員の事故四十五%は、交通事故

定時総会が開催される

定時総会が5月30日 白沢老人福祉センターで開催し、議案3件、報告事項1件を提案し、全員の承認をいただきました。また、今回は、定款の一部変更の議案がありましたので、議決に必要な数は、3分の2以上の158名（出席62名、委任状96名）の出席をいただきました。

平成24年度 事業報告書

I 事業報告

24年度の目標に対する実績は、会員は、20名の減、受注件数は、291件の増、就業率は、101.2%、就業延人員数は、836人日の減、契約金額は、3,133千円の減、となりました。

事業は、項目別に目標を設定して事業を遂行いたしました。

II 事業項目別の成果

- 1 組織運営体制の強化は、地域班及び職群班活動、会員の就業意識・資質向上のため、研修を実施し成果を上げることができました。
- 2 就業機会の開拓は、独自事業の創設を行い、就業の開拓に努めました。
- 3 会員増強の推進は、入会説明会を6回開催いたしましたが退会者が多く、会員の増加にはなりませんでした。
- 4 安全就業の推進は、傷害事故を防止するため、安全講習会開催、就業の徹底の安全パトロールを実施いたしました。
- 5 就業体制の強化は、職群班の自主的就業の強化が班員に浸透し始めており、継続して活動を推進いたしました。
- 6 適正就業の推進は、長期就業の是正と改善をはかるべく、長期就業者への説明会を実施し主旨の理解を得るよう進めました。
- 7 労働者派遣事業に参入してから3年目となり、就業開拓を組織的に推進いたしました。
- 8 普及啓発活動の推進は、事業内容等の開示とホームページ、会報シルバーだよりを活用し、センター情報の周知を図り、啓発活動の推進に努めました。
- 9 お客様に満足度調査研究を実施いたしました。回答は、就業に満足、やや満足が83%を占めました。不満・やや不満と回答について、分析と対策を行い、職群班班長会議で検証いたしました。
- 10 法人運営体制の充実、財政基盤の強化及び透明性の高い経営は、公益社団法人として運営を開始し、地域貢献は、社会奉仕活動、高年齢者の社会参加活動を積極的に支援し、さらに地域社会が求めるニーズに応える業務の開拓と事業活動の展開をすすめました。
- 11 職業紹介事業への体制づくりは、就業を希望する高年齢者への職業紹介事業を準備しましたが、関係法令の改正等により紹介事業は実施いたしませんでした。

平成24年度 センター状況

項目	事項	項目	事項
センター会員数(平成24年4月1日)	177人	24年度契約金額 (公共事業) (一般企業) (個人家庭) (労働者派遣事業)	71,807,768円 (30,171,033円) (17,642,219円) (11,938,390円) (12,056,126円)
同上男	130人	(うち配分金)	(64,076,074円)
同上女	47人	会員1名当たりの就業実日数(延人員/会員数)	86.9日
受注の件数	811件	会員1名当たりの配分金額	385,000円
就業実人数	165人	事務費収入額	6,813,505円
就業延実人数	3,407人	総収入に占める事務費の割合	8.00%
就業延人日数(日数)	14,664人	配分金 基準	地域最低賃金664円を参考
就業率	101.23%(就業者165人/会員数163人)	正会員年会費	3,000円
24年度決算状況		会費収入年総額	575,000円
1 経常収益額 (公益目的会計額) (法人会計額)	85,121,460円 (83,327,429円) (1,794,031円)	補助金等(24年度) (国・連合交付金) (都道府県分) (市町村分)	12,596千円 (6,298千円) (398千円) (5,900千円)
2 経常費用 (公益目的会計額:事業費) (法人会計額:管理費)	85,956,962円 (84,162,931円) (1,794,031円)		

センターは、高齢者の相互協力を基礎として、会員による自主的組織として運営し、広く地域社会の理解と支持を得ながら、一般家庭、事業所、公共団体等から仕事を引き受け、社会参加の機会と生きがいとして、地域社会に貢献することを目的とし、目的を達成するために、基本として次の事業を推進いたします。

一、普及啓発活動

センターが行う普及啓発活動は、「自主、自立、共働、共助」の基本理念により、適正な事業運営に努めるべく活動を推進する。

二、入会促進

センター会員は、本宮市に居住する六十歳以上で、健康で就業意欲のある方の入会を促進するため活動を推進する。

三、就業開拓

会員・役職員が役割に応じて仕事の開拓を推進する、発注を待つのではなく、柔軟な発想を持つて積極的に取り組む就業開拓活動を推進する。

四、調査研究

地域社会の仕事のニーズ等を的確に把握するため、関係情報、資料の収集・分析に努めるとともに、年間一件テーマを決めて調査研究を実施する。

五、サービス向上に向けて

センター事業は、地域社会のニーズに対応し仕事を引き受け、適切に履行し、作業中のトラブル防止に努めることが地域社会からの信頼性を高める活動を行つ。

企画研修委員会

四月二十六日にそうま広域SOCを研修訪問いたしました。

大変ご多用の折、齋藤博理事長、門馬一郎副理事長、矢野裕副理事長、横山昌義事務局長にご指導いただきました。

独自事業は、市民まつりやバザーに参加し実績を上げておりました。作品の実物、写真等を見せていただき詳細の運営をご教授いただき大変参考になりました。

実際に拽張りを見せていただきました。

本会の独自事業の運営課題として、大変勉強になりました。

安全就業委員会

四月三十日、南相馬市SOCに「安全就業について」研修訪問いたしました。

大変ご多用の折、伊藤博人理事長、大畠智由事務局長、木幡卓也主事にご指導いただきました。

会員は、避難等で一〇〇名が退会しておりますが六九七名の会員が活動しておつづらましい状況でした。

安全対策は、極め細かく設定し実行しておる事には感服いたしました。

会員の意識向上を図り事故防止対策を行なつており、会員の安全対策を学ばせていただきました。

本会も事故「ゼロ」の取り組みについて、大変勉強になりました。



平成25年度 実施計画

普及啓発活動

項目	実施内容	概要	備考
1 ホームページの更新	(1)情報公開に基づく修正 (2)更新：随時更新する ・常に最新情報を入力依頼する	*定款第42条第2項 *掲載記事の確保 *会員に周知	
2 市民への周知	(1)全世帯に会の周知を図る ・会員募集を同時に周知	*25年2月に実施した 全市9,727世帯に配付 印刷枚数10,200枚	印刷時間 A4片面印刷： 3時間30分
3 会報「シルバーだより」の発行	(1)発行：2回 9号8月1日発行 10号1月1日発行 (2)配布方法：地域班経由で会員に送付 (3)作成会議	*定期的に発行のため固定記事の検討 *掲載記事の確保 *写真の確保 *紙面割付け及び校正を行う	8頁 5段組み 34行・13字 カラー1頁 ・8頁 500部
4 その他必要な事項	(1)センター前掲示板の使用 ・常に最新情報を貼り付ける (2)先進地視察研修	*掲示板による周知 *最新情報を掲示	平成21年 7月14日 市施設管理課長に使用許可済

企画研修

項目	実施内容	予定期	概要
1 研修管理体制	(1)委員会の開催	随時	○「企画研修実施計画」により、シルバー事業の理念を踏まえた事業運営に努める。
2 会員研修事業	(1)健康講座	10月上旬	○会員の安全就業や健康に関する意識を高める講座を開催する。
	(2)救急法講座	2月中旬	○会員の安全就業や緊急時にに関する意識を高めるため、講座を開催する。
3 役員研修事業 (理事・監事)	(1)基礎講座の開催		○役員は、主体的に運営を担う者として自覚と問題意識を醸成するための講座等を行う。
	(2)視察研修の開催	4月下旬	
4 各委員会等研修事業	(1)各委員会先進地視察研修	随時	○各委員会先進地視察研修会を実施し、各委員会の活動強化に努める。
5 事業・就業開拓	(1)独自事業の開拓及び推進	随時	○手工芸事業を開始した、製作・販売の充実を図る。
6 会員の社会参加	(1)地域環境の美化活動 (2)地域参加型ボランティア活動	通年	○地域参加型ボランティア活動・地域環境の美化活動を行う。 ○地域貢献のため、独居高齢者等の雪かきボランティアを行う。
7 職員研修事業	(1)職員研修 (2)先進地研修	随時	○業務の基礎知識・専門的知識の習得及び企画力の養成等が求められることから、研修を踏まえた事業を行う。

適正就業

項目	実施内容	概要
1 適正就業の推進	(1)長期就業の適正化 (2)会員の身体的能力等に応じた就業機会の確保・提供 (3)グループ化、ローテンション就業の推進	○「適正就業に関する基準」遵守し会員の公平な就業機会を提供するため適正就業を推進する。 ○就業期間終了通知書送付（1月） ○就業希望者の募集（1月から2月） ○就業希望の告知・委員会での就業可否の検討（2月上旬）
2 適正就業の周知徹底	(1)シルバーだより、総会及び安全・適正就業推進大会等でPRし周知徹底を図る。	○会員に対して適正就業の主旨の徹底を図るためにPRに努める。
3 会議の開催	(1)適性就業委員会等の連絡調整のための会議開催 第1回説明会 7月 日 (4月～7月の入会者) (平成25年4月に就業期間が終了する就業者も含む) 第2回説明会 11月 日 (8月～11月の入会者) 第3回説明会 3月 日 (12月～3月の入会者)	○適正就業の円滑な推進、会員への周知徹底を図り情報交換に努め適正就業の推進に寄与する。 ○説明会の目的 適正就業を正しく理解していただき遵守すること。
4 適正就業に係る説明会の開催	(1)会員の就業機会均等化 (2)会員の就業率向上	10月 日
5 先進視察研修		

安全・適正就業対策

項目	実施内容	概要
1 安全・適正就業管理体制	(1)安全就業委員会会議の開催 (2)適正就業委員会会議の開催 (3)安全・適正就業推進大会の開催	○安全・適正就業推進のための効果的な活動を推進する。 ○安全・適正就業推進大会を開催し、安全と適正就業の意識高揚を図る。
2 事故防止対策	(1)安全就業基準の作成 (2)作業別安全ハンドブックの作成 (3)安全保護具着用の励行徹底 (4)事故状況の把握とその分析と統計 (5)シルバー保険制度の充実	○「安全就業基準」を履行推進する。 ○作業別安全ハンドブックの作成し配布する。 ○安全保護具の着用励行徹底を図る。 ○事故実態の分析を行い、事故防止に資する。 ○シルバー保険制度の継続的加入促進を図る。
3 会員の健康管理	(1)健康状態の把握 (2)健康診断の奨励 (3)健康に関する講座の開催 (4)文化活動の促進	○会員の健康に関する意識高揚が図られる ○会員に健康診査の実施につとめる。
4 安全・適正就業管理教育	(1)安全・適正就業に関する講習会の開催 (2)作業機械取扱い講習会の開催 (3)新入会員に対する研修会等の開催 (4)安全就業委員会・適正就業委員会の研修 (5)交通安全講習会の開催	○会員の「安全就業講習会」等を開催する。 ○講習会を開催し事故防止を図る ○意識を高めるため研修会を開催する。 ○交通事故防止のため講習会を実施する。
5 安全・適正就業意識の普及啓発	(1)普及啓発資料の作成 (2)安全の日の設定 (3)安全目標の設定 (4)安全就業の確認 (5)安全標語の募集 (6)推進員によるパトロールの強化	○パンフレットを作成し、安全意識の啓発に努める。 ○安全の日を設定し事故防止を図る。 ○安全目標を設定し、安全意識の普及啓発に努める。 ○業務内容を確認し就業を促進する。 ○安全標語募集とともに安全意識の高揚を図る。 ○現場における指導を徹底する。

みんなの広場

あなたの本業は?
(シルバー人材三年目)



佐久間宗雄

あなたの本業は
と問われることが
ある。

二十歳のとき入

社した会社が建築の企画・設計・施工
会社で木質系内装工事業の工場勤務につ
た為、技能士を目指し関連する業種の
二級家具技能士、一級木工技能士、木
工科職業訓練指導員免許等を取得。

二十三歳のときに本社工事部管理部
門へ転属。消防法や衛生法等の法令が
解らないことがわざわいし、完成検査
の指摘が多くあつた為、三十歳のとき
建築基準法の勉強を始めた。一年後に
二級建築士免許を取得。多数の現場を
完成させ、設計事務所・ゼネコン・施
主から感謝された。四十八歳のとき當
業部に転属し定年を迎えた。

シルバー人材センターの入会申請の
得意作業に○印を多く付けたが、想い
の作業が受注されない一年目だった。
剪定班が不足の為講習会に参加する様
促され参加した。自宅の庭の剪定とは
違い、様々の状況に対応しなければな
らない現実に遭遇し戸惑った一年目。
今年三年目は気持ち新たに大胆な作業
を心がけ依頼者のニーズに応えたいと
思っています

「就業の基本」

佐藤 正幸



シルバー人材セ
ンターに参加して
みないかと誘われ
平成十九年に入会

しました。
草刈班に所属し班長を仰せつかって
います。

就業のモットーは、お客様に喜ばれ
る仕事をすることケガのない安全な就
業をすることです。

今回、就業時間の特例基準が作られ
ました。今まででは、適宜行なつていた
就業時間が班長一任されたことは、と
ても良いことだと思います。

暑い時は、熱中症にならないよう十
分に水分を取り、休憩も配慮出来ます。
会員には、それぞれの個性があります。
丁寧にやれば、お客様に喜ばれます
から会員の皆さんには、お願いして
ます。心配なのは、草刈に参加する会
員が年とともに減っています。

仕事があつても人員の確保が出来な
いでは、会の運営は大変になります。

「みんなの広場」の原稿募集

この頁は、会員の皆さんのが投
稿により、日頃思うこと、旅行
紀行、俳句、川柳等自由にお使
いください。

定期総会開催

「就業の基本」

一 開催日 五月三十日 木曜日

二 開催場所 白沢老人福祉センター

三 会長あいさつ

平成二十五年度 会員互助会 定期総会の開催につ
き、一言あいさつ申し上げます。

昨年、公益社団法人となり、会員互助会も独自運営
を行うこととなり役員を地域班から選出して運営して
まいりました。

二十四年度は、会員の親睦交流事業、奉仕活動事業
と多くの会員の皆さんのが参加いただき感謝申し上げま
す。

各種講習会を実施いたしました、予算収支決算は、
予定どおり執行いたしました。

二十五年度は、予算をより有効に活用した会運営を行
いたいと存じます。

役員が新たに地域班から選任されました、会発展の
ため皆様のご協力とご尽力をお願い申し上げましてあ
いさつといたします。

四 議 事

議案第一号 平成二十四年度

議案第二号 平成二十五年度

事業報告及び決算承認の件

議案第三号 会則の一部改正の件

議案第四号 役員選出に関する件

会員入会説明会を開催

六十歳以上の皆さんを対象にシルバー会員の入会説明会を四月一日、五月一日開催いたしました。参加者には、「会員のしおり」を配布し、総務部会担当の理事から会の目的、事業等の会の基本的事項の説明を行ないました。

次回は、九月二日（火）十一月一日（金）に開催します。

新会員加入者名

二十五年四月から二十五年五月

移渡	渡辺	五十嵐	国貝	前佐	平菊	佐伊	伊佐	遠藤	遠藤	沼田	武田
川邊	辺分	嵐間	分沼	田間	栗地	藤藤	藤藤	藤藤	藤藤	通子	子
節一	眞貴子	文正	哲勇	好紀	悦豊	貞栄	洋利	弘人	通子	弘人	子
子弘	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子
白沢	本宮第二班	本宮第一班	本宮第三班	本宮第五班	本宮第四班	本宮第一班	本宮第五班	本宮第一班	本宮第五班	本宮第一班	本宮第四班

職員人事

25年4月1日付、人事異動を行いました。心気一転、就業に努めますのでよろしくお願ひします。

職名	氏名	事務担当	理事専門部会	担当委員会
常務理事兼事務局長	桑原四郎一	事務総括	—	広報委員会
次長	荒川 政雄	職群班の受注、安全パトロール	事業部会	安全就業委員会
次長兼経理課長	渡辺テル子	経理事務、受託請求、配分金支払い事務	総務部会	企画研修委員会
業務課長	矢吹 一義	長期契約の受注、会員の傷害及び損害保険	事業部会	適正就業委員会
管理主任	橋本 悅美	会員の入退会、福利厚生、会計経理	総務部会	企画研修委員会

行政訴訟の支援

奈良県平群町シルバー人材センターの会員が剪定作業中に転落右足骨折した。健康保険被扶養者のため、高額医療費の支給対象外として、医療費60万円の請求を求められており、不服として再審査請求を行つたが認められず、行政事件訴訟による「抗告訴訟」のため、全国のシルバーに行政訴訟の支援を依頼しております。

主旨に賛同した役員等皆さんのご協力により、支援金を送付いたしました。
ご協力に感謝いたします。

1 支援募集期間：2月25日～4月19日

2 支援送付額：63,000円

六月十三日に広報の先進地である福島市SCを研修のため訪問いたしました。
大変ご多用の折、広報担当三宅幾太郎氏、安倍誠一事務局長にご指導いただきました。
紙面の構成のヒント、見出しのポイント等詳しく述べて、シルバー事業の理念「自主・自立・共働・共助」に基づき、安全・就業に努めており思われ始めていたのではないでしょうか。
あれから二年五ヶ月の月日が過ぎようとしております。時が流れ去るという事は、人の心からも流れ去るという事なのか、次第に過去の事と思われる始めていたのではないでしょうか。
さて、シルバー事業の理念「自主・自立・共働・共助」に基づき、安全・就業に努めておりますが、より安全に地域社会へ就業、貢献できるように、七月十五日に第一回目の安全・適正就業推進大会が開催されました。

益々、就業高齢化が進む中で、忘れ得ずして基本理念の基に、自主的に社会参加により喜びを得る、シルバー組織として拡充していく機会になつた事と想います。

広報委員会

編集後記

六月十三日に広報の先進地である福島市SCを研修のため訪問いたしました。
大変ご多用の折、広報担当三宅幾太郎氏、安倍誠一事務局長にご指導いただきました。
紙面の構成のヒント、見出しのポイント等詳しく述べて、シルバー事業の理念「自主・自立・共働・共助」に基づき、安全・就業に努めており思われる始めていたのではないでしょうか。
あれから二年五ヶ月の月日が過ぎようとしております。時が流れ去るという事は、人の心からも流れ去るという事なのか、次第に過去の事と思われる始めていたのではないでしょうか。
さて、シルバー事業の理念「自主・自立・共働・共助」に基づき、安全・就業に努めておりましたが、より安全に地域社会へ就業、貢献できるように、七月十五日に第一回目の安全・適正就業推進大会が開催されました。

益々、就業高齢化が進む中で、忘れ得ずして基本理念の基に、自主的に社会参加により喜びを得る、シルバー組織として拡充していく機会になつた事と想います。

* 広報委員会 *